

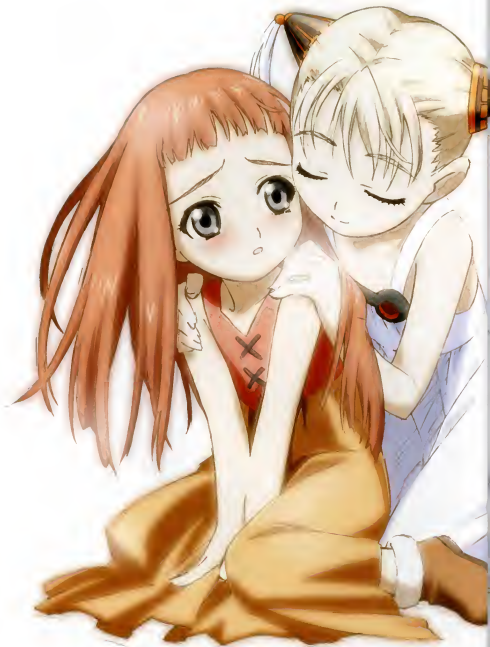


LASTEXILE Aerial Log
VISUAL ARCHIVE











初出：ニュータイプ2003年2月号 作画：堀内 博 メカ作画：小森秀人 仕上げ：後藤希子 特効：星美弥子 背景：小倉弘昌



初出：ニュータイプ2003年1月号 作画：堀内 博 仕上げ：後藤希子 3DCG：小林武人 背景：小倉弘昌



初出：ニュータイプ2003年10月号 作画：堀内 雄 仕上げ：後藤孝子 3DCG&特効：矢野森明彦

6



 geneon

初出：海外用DVD Vol.3ジャケット 作画：堀内 雄
仕上げ：後藤孝子 3D：デジタル部 特効：井家 信
(北米にてGNEON ENTERTAINMENT (USA) INC.より発売中)

 geneon

初出：海外用DVD Vol.6ジャケット
作画：堀内 雄 仕上げ：後藤孝子 特効：井家 信
(北米にてGNEON ENTERTAINMENT (USA) INC.より発売中)





7

●デュシスのグランドストリームマップ



●アナトレーDX画（異航門不能、壁腐ス）



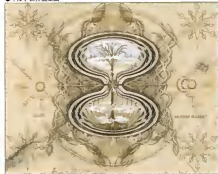
●アナトレー旗

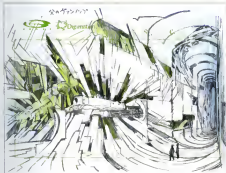
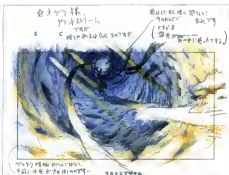
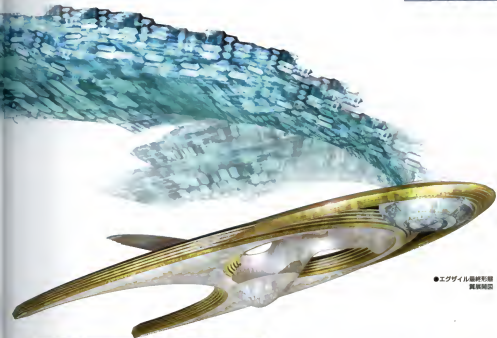


●マドセイン郵野戦病院の旗



●ギルド世界創世図







●ギルド城 ユニット結納場

●ギルド城 エラクレア軍副像

●デュシス紋章



●マドセイン軍紋章



●ギルド紋章



●アナトレー紋章



●アルの描いた夢境の絵（完成）



LASTEXILE Aerial Log

RANGE MURATA WORKS



●ラヴィ飛行服初期設定（ラフ）

ラヴィ・ラフ
1993.12.13

- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）
- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）
- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）

ラヴィ・ラフ
1993.12.13



ラヴィ・ラフ（ラフ）
1993.12.13

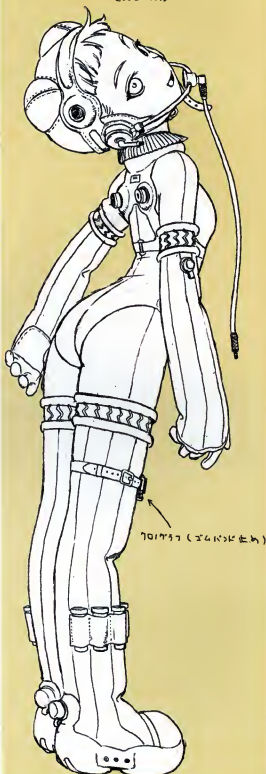


- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）
- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）
- ・ラヴィ・ラフ（ラフ）



●ラヴィ/シルヴァーナ飛行服初期設定（ラフ）

ラヴィ・シルヴァーナ色の飛行服（ラフ）
1993.12.13



●アル初期設定 (ラフ)



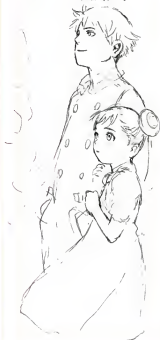
●アル初期設定 (ラフ)



●アルED用コスチューム案 (ラフ)

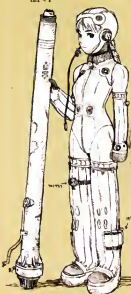


●アルEDレイアウト案 (ラフ)



●タチアナ飛行服初期設定 (ラフ)

1992年 12月 完成図

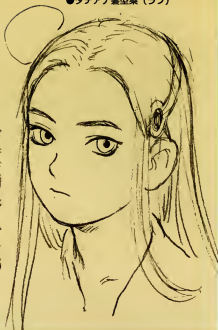


- ・足元は足と履物 (脚部は白く塗る)
- ・足元は黒い
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)
- ・足元は白く塗る (足元は黒く塗る)



足元は白く塗る (足元は黒く塗る) (足元は白く塗る)

●タチアナ髪型案 (ラフ)



14

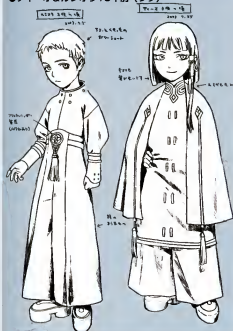
●クラス初期設定 (ラフ)

●クラス飛行服と普段着 (ラフ)

1992年 12月 完成図



●ディーオ&ルシオラ10年前 (ラフ)



●ディーオ初期設定 (ラフ)



●デルフィーネ初期設定 (ラフ)



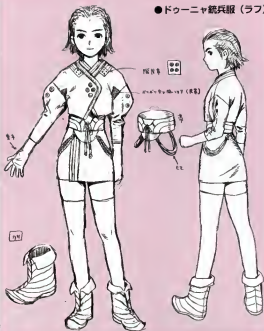
●デルフィーネ
入浴時 (ラフ)



●ドゥーニャ花嫁姿（ラフ）

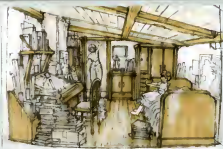


●ドゥーニャ銃兵装（ラフ）



16

クラウス&ラヴィの家 設定



●ラヴィの部屋（レイアウト設定）



●厨房（レイアウト設定）



●食卓（参考）



●厨房（美術ボード）

LASTEXILE Aerial Log
STORY INDEX



あの頃、僕たちは何でもできると信じていた。
父さんと母さんは、いつも優しく、僕たちを見守ってくれた。
いつかは父さん達みたく、蒼い空を遠く、高く、
どこまでも行けると信じていた。

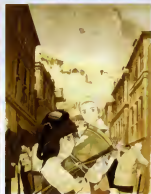
あの頃、空が世界の全てだった…

グランドストリーム。大いなる風の道…

父さん達はあの日、笑顔で旅立っていった。

あれが…父さん達を見た最後だった…

その日も空は蒼く、そして…そして、とても高かった…





Fly to the Sky

飛翔……クラウドとラヴィ

クラウドとラヴィ。幼い頃からの相棒同士。2人は、2人なら何でもできると信じていた。クラウドとラヴィの父は、高名なヴァンシップ乗りであった。だが彼らは、2人に笑顔とヴァンシップだけを残してグランドストリームに散ってしまう。この日より2人は、いつかは父親達が果たせなかったグランドストリームを越えることを誓い合った。

天涯孤独の2人にとって、蒼く澄み切った大空がゆりかごであり、先生でもあった。だが、その大空からもたらされた少女、アルと、彼女に託されたこの世界の秘密、そしてアレックスやディーオ達との出会いが、クラウドとラヴィの運命を大きく変えていく。

戦いの空を飛ぶことに疑問を持つラヴィ、空を飛ぶことでしか、運命を変えられないと直感するクラウド。大空での試練は、2人の関係を微妙に変化させていく。だが、2人の心の中にあるものはヴァンシップ乗りとしての誇りと自由な空への憧れ、そして、亡き父達への約束……。クラウドはラヴィとアルを守るために、ラヴィはクラウドを助けるために、2人は信じるもののために、大空へと立ち向かっていく。

右●クラウド・ヴァルの
左●ラヴィ・ヘッド



2人でグランドストリームを越えたと誓ってから10年。2人は立派なヴァンシップ乗りに成長していた。



幼い頃からコンビだった2人は、困難な仕事でも必ずやり遂げ、途中で投げ出したりはしなかった。



ラルフから引き継いだ荷物は、小さな女の子のアルだった。クラウドは謎の敵からアルを守ろうとする。



左側●6歳の頃
右側●12歳の頃



クラウドを救ったのはシルヴァーナの艦長、アレックスだった。だがアレックスの態度に憤慨したクラウドは、アルを守るためシルヴァーナへと乗り込む。



大切なヤギのぬいぐるみを何とかキャッチ。一方でクラウドは整備員達に襲撃にあう。3人は再会を果たすことができたが……そこにまた敵が現れる。



クラウドとともに出撃したラヴィはレッドアウトを起す。タチアナの仕打ちと、自分の思い強く空とのギャップにラヴィは悩む。大空は自由なはずなのに……



8割レースで優勝！2人は最高の名誉を手に入れる。その後ラヴィはクラウドにヴァンシップを降りることを告げる。彼女は戦いの空に疑問を持っていたのだ。



異変を志すラヴィ。ディーオが嗅えたミステリオンに反応するアル。戦いの最中タチアナと遭遇してしまうクラウド。3人に試験のときが訪れるのだった。

Fly to the Sky

飛翔……クラウドとラヴィ



クラウドは無事に帰還した。だがタチアナへの感情と、クラウドの真実な態度に、ラヴィは心を痛める。



一方クラウドは父の死の真相と、自分達のヴァンシップの正体を知る。2人の心は戦局同様乱れていく。



自分自身を見詰め合う2人。なぜ、空を飛ぶのか……それはヴァンシップ乗りにとって最も大切な事だった。クラウドは、ミハイルとの出会いでそれに気付く。



親しいレース仲間との再会は、2人に安らぎを与えた。だが同時に自分達の行為が、ヴァンシップと大事な仲間達を襲いに巻き込んだと、心を痛めてしまう。



決戦を前にした安らかなひととき。様々な人間関係が交差するなか、シルヴァーナはエグザイル探索と確保のため、グランドストリームへの突入を開始する。

空での戦いは激しさを増していた。だがクラウドとラヴィの気持ちはずれ違えばかりだった。ラヴィはクラウドに問い掛ける。クラウドはどんな時でも前を見ていたと。それは、ラヴィ自身への問い掛けだったかもしれない。そして2人は気付く。自分達はヴァンシップ乗りだと。新しい戦争はヴァンシップ乗りが鍵を握るという。だがクラウドとラヴィは戦いのためだけでなく、自分が選んだ空を、それぞれの道で飛ぶことを誓い合う。

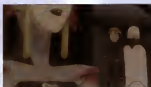
戦局は新たな段階に入った。クラウドとラヴィはデルフィーネの策略で離ればなれになった。この時ラヴィは、クラウドがかげがえの無い存在と初めて気付く。そしてクラウドも自身の無力さと仲間やラヴィの存在の大きさに気付く。ギルドを脱出したクラウドを出迎えたのは、ラヴィが修理した2人の愛機だった。2人はアルとともにグランドストリームへと挑んだ。世界を救うために……



左側ラヴィ●シルヴァーナ都内監ら監修
右側クラウス●シルヴァーナ都内監ら監修



エグザイル確保には成功した。だが、シルヴァーナはゲルフィーネに制圧されていた。必ず得てラヴィを守る…そう言い残してクラウスは通行されていく。



アルはエグザイルを脱出するための鍵であった。そしてクラウスは空の彼方まで全てを知るのだった。ギルドの傲慢と怠惰と、自身が無力な傍観者であることを。



クラウスは必ず生きて帰ってくる。そのときを信じてラヴィは持ちつづけていた。そして、クラウスは帰ってきた。ラヴィは、抱えきれない感情を涙に変えた。



ブランドストリーム突破仕掛けと完璧に整備された登場、大空の良き仲間達とともに、ラヴィは、クラウスを出迎える。各コンビが復活した瞬間であった。



約束のときは来た。クラウスとラヴィは、父達が果たせなかった夢を叶えるため、世界を救うために飛び立つ。2人のヴァンシップでブランドストリームへと。

The Sealed Seacret

封印……アルヴィス・E・ハミルトン

運命の子、アルヴィス・E・ハミルトン。ミドルネームのEはエグザイルのE。世界の鍵。それゆえに世界の全てから狙われ、幼い心は孤独に打ち震えていた。

彼女の口から両親の話が語られることはなかった。物心ついた時から、まわりにいたのはギータとグラフだけだった。いつも1人だけの毎日。それゆえに、クラウドとラヴィとの出会いは、過酷な運命への誘いと同時に、封印された心を開かせる原動力となった。

蒼く澄み切った空の下には、暖かくて自由な場所がある。1人の女の子として生きていくための仲間達がいる。様々な人々と出会う事で、アルはその事を本能で理解し始める。

だが戦局は、アルを1人の女の子でいることを許さない。アルを手中にしたものが、世界を手に入れることができる。大人達の事情は、幼いアルを弄弄しつづける。

だが彼女は変わっていく。様々な困難を乗り越え1人の人間として成長していく。その成長こそが世界を変える力ともなった。そして、アルは自身と世界の運命を変えるフライトへと進む。信頼できる仲間とともに、良い風とともに。

●アルヴィス・E・ハミルトン
留髪髪からシルヴァーナ密内面



一人ぼっちになってしまいいてばかりのアル。無理もないことがラヴィはそんなアルを厳しく諭す



シルヴァーナへと連れて行かれたアルは1人で密内を歩き回る。これが彼女の成長の第一歩でもあった



アルはシルヴァーナでの生活で様々なことを学んでいく。そして自身に隠された秘密をも発動させていく



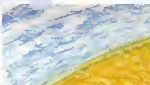
●ギルド服



アルに封印された力の片鱗が、魔生体を揺るがした。



ラヴィを1人で重病をしたり、クラウスとラヴィとのすれ違いに心悩めたりと、アルはシルヴァーナという小さな世界で、大きな成長を遂げようとしていた。



仲間を気遣うアルの優しい心が、決戦直前のシルヴァーナ内を和ませていく。一方でエグザイルに近づくにつれ、アルは不思議な変換の夢を見るようになる。



シルヴァーナ艦内での静かな誕生日。アルはディーオのために気持ちを込めたケーキを作る。だがギルドとの関係と自身を持つ宿命に、アルは窮乏される。



ルシオラの優しさ、ホリーの健気さ、一生懸命に強く生きる人々の姿や平和を願う気持ちに触れたアルは、心からこの暖かい世界を守りたいと思うのだった。



全ての試練を乗り越えて、大きく成長したアルは、クラウスやラヴィとともにグランドストリームへと挑んでいった。大切な仲間と、この世界を守るために。

11話「ディエロップ」(DVD9巻)

クラウスを伴うディーオとの掛け合いと乗船のシーンが見所。夕日を見つめる姿もかなりキュート。

20話「グランドストリーム」(DVD10巻)

見た目は悪いが味はおいしいアルの手作りケーキ。またこの回は、変換の夢と世界観を示す重要なエピソードとなっている。

26話「リザイン」(DVD13巻)

最終回のエグザイル変換シーンは圧巻。26話のナビゲーションシーンも、アルの成長が目に取れる。

Best Friends

親友……ディーオとルシオラ

この2人の出会いは約束されたものだった。運命とかデルフィーネの差し金とかは関係なかった。ディーオとルシオラは比翼の鳥。2人でひとつの存在なのだ。

ディーオは、ルシオラを友と呼んだ。そばに居て当たり前、失ってはならない、たった1人のかけがえの無い存在。だからディーオは恐怖したのだ。全てをマエストロに捧げる成人の儀式を、友や自由のないデルフィーネの空を。

ルシオラもまた、デルフィーネの前でディーオを友と言った。このギルドではマエストロが全て。マエストロへの忠誠以外は、何も存在しない。だがルシオラは、ディーオが友と呼んでくれたその日から、その命を彼に捧げると誓ったのだ。

ルシオラは、ディーオに自由を与えるために、ギルドと戦い散った。だがディーオは、その心をデルフィーネに押し潰され、グランドストリームの方へと消えていった。

離ればなれになった2人だが、その心は再び、このグランドストリームでひとつになるのだった。比翼の鳥のように。そして、力強く羽ばたいていくのであった。新しい歴史を刻もうとする青き星の大地へと……。

左●ディーオ・エラクレア
右●ルシオラ



幼い頃にめぐり会ったディーオとルシオラ。ディーオは初めて、心を許せる存在と出会ったのだった。



ルシオラを気遣うディーオ。それに感ずるルシオラ。これが2人の主眼を結んだ関係の始まりだった。



奔放なディーオはシルヴァーナでの生活で本当の自由の味を知る。だがそれは悪劇への序章でもあった。





左側●ディオ5歳&ルシオラ6歳
中央●パイロットスーツ
右側●ディオ儀式服



デルフィーネの出現に、混乱するディオ。成人の儀式までとわずが……。それを過ぎればディオは、本当の自由を手に入れることができるのだった……



ルシオラとのひと時は、ディオに安らぎを与えた。ルシオラもディオの気持ちに応えていく。そして仲間達との誕生日会で、人生で最も幸せな時を過ごす。



任務を完了させ、上機嫌のディオを持ち帰っていたのは……デルフィーネであった。ディオは、苛立ちと絶望感をルシオラにぶつけずにはいられなかった。



成人の儀式でディオは自由な心を殺されてしまい、以前の明るい面影は何ひとつ残っていなかった。だがルシオラは、ディオを救うために兄との戦いに臨む。



心と記憶を奪われても、ディオは、最後までルシオラとの楽しい思い出だけは忘れなかったのである。ルシオラの想いは、ディオの心に届いたのである。



Trust Relationship

信頼……タチアナとアリス

士官学校時代、タチアナを、最後まで囲っていたのはアリスだけだった。一緒にシルヴァーナまでついてきてくれたのもアリスだけだった。親友のアリスティアがいつも一緒だから……だからタチアナは、大空で戦ってこられたのだった…。

28 だが、タチアナの頑なな態度は、アリスを悲しませると同時に、反発を生み出していった。

タチアナの空には自由がない…。そう言ってアリスはコンピを解消する。そう、タチアナは、ヴィスラのためにと、自分で自分の心を檻の中へと閉じ込めていたのだ。それを気付かせてくれたのが、クラウドの優しさだった。

タチアナの中で、クラウドに対する感情が、どんどんと膨らんでいった。だがアリスは、その感情に流されるなとタチアナを諫める。アリスもまた、タチアナと離れることで知ったのだった。何かに依存する愚かさ、不自由さを……。

様々な経験を経て、2人は全てに気付くのだった。本当の意味での自由と、仲間の大切さを、笑顔の素晴らしさを。タチアナとアリス、信頼に結ばれた2人の空は、どこまでも高く、自由だった。

左●アリスティア・アグリュー
右●タチアナ・ヴィスラ



士官学校時代から育ちびしてきたタチアナは、大人達からクラウドの姿と重ねられて思わず赤面する。

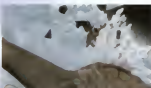


タチアナは必要以上にクラウドを意識する。その頑なな態度が、アリスまでも傷つけることになる。

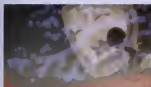


自由な空を意識し始めたアリスは、クラウドのナビに志願する。そのことに、タチアナは深く落ち込む。





アリスの手配外の行動に反発したタチアナは、クラウドをナビに指名する。タチアナを救い上げに見送るアリス。タチアナは、自分で自分を追い詰めていく…



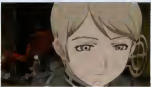
「除滅特を引けよ！ タチアナ・ヴィスファル」クラウドの機転により砂漠地帯への不時着には成功するが、ヴァンシップは飛行不可能な状態になってしまう。



今までの実績や自分の居場所、自尊心まで粉砕されたタチアナは全てをあきらめてしまう。だが、クラウドの優しさに触れ、タチアナは生きる気力を取り戻す。



無事に生還したタチアナだったが、その感情は不安定なままだった。自身も含め、本当の自由と自立を願うアリスはタチアナに立ち直って欲しいと心を砕く。



様々な経験をしたタチアナは思いやりを、アリスは自立心を得た。だれかに頼るのではなく、また頼られるだけの存在ではない本当の信頼関係の始まりであった。



本編の意味でのパートナーとなったタチアナとアリスは、グランドストリームへと挑戦するクラウド達を笑顔で見送った。ともに戦った、大空の友人として…

11話「デュー・エコー」(OVA第9巻)

タチアナを突き放しつつも、自分やタチアナの気持ちと
星の動きを重ねるアリスのシーンに注目。

12話「アイヴィレイテッド・ゾーン」(DVD第9巻)

冒険の手帳のシーンから砂漠での遭遇シーンまで、タチアナの
顔と背負っているものの大きさがますます表現されている。

25話「サファイヤード・トープ」(DVD13巻)

本来の敵であるバグとクラウドをリレーするタチアナ
とアリスのシーンは新しい世界への希望を予感させる。

All's Fair

恋心……モランとドゥーニャ

生存率は約3割。3回も戦闘に参加すれば、そのほとんどが戦死してしまう…。それが銃兵の悲しい現実である。だが平民が出世するには、銃兵となり生き残るしか方法はなかった。

雪と氷に閉ざされたデュシスは、滅びの時を迎えていた。デュシスの民が生き残るためには、暖かい太陽と豊かな大地があるアナトレーに、新たなデュシスを築くしかなかった。

銃兵として死の恐怖と戦うモラン。幼い弟や妹のために銃を取るドゥーニャ。生まれた国は違えど、2人は似たもの同士だった。

モランはドゥーニャのために祈った。ギルドの弾はドゥーニャ・シェアの身体を避けて通ると。

ドゥーニャもモランのために祈った。ギルドの弾はモラン・シェトランドの身体を避けて通ると。

だが2人が本当に願っていたことは、平和で穏やかな世界を築くこと。飢えることも、渴くことも、凍えることもない豊かな日々を作り上げること…。そんな未来を信じて2人は共に戦うのだった。世界を変えるために。

2人の流した血と涙は、古い世界を打ち壊した。この2人こそが未来を切り開いた真の戦士であり、新たな希望への象徴なのである。



左●ドゥーニャ・シェア
右●モラン・シェトランド



出世と豊かな生活をかけて銃兵となったモランは、様々な戦場で死の恐怖に耐えながら生き残ってきた。



奮闘士としてシルヴァーナに乗り込んだモランは、空の上で様々な経験を積み、戦う意義を考え始める。



奮闘士軍団は、モランを仲間として受け入れた。とはいえモランのフライング術は相変わらずだった…